

和地ひとみレポート No.400

オリンピック関連事業の中止・新型コロナウイルスワクチン接種対象の拡大
市の教育委員会が学校連携観戦中止を決定するも
無観客となり・・・



■東京2020大会の学校連携観戦の中止

…7月7日、東大和市教育委員会は“東京2020大会における学校連携観戦”の中止を決定し、以下のとおり公表しました。

【東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における学校連携観戦の中止について】

東大和市立小・中学校では、オリンピック・パラリンピック教育の集大成として、学校連携観戦への参加に向けての準備を進めてまいりました。

しかしながら、現在、新型コロナウイルス感染症の都内における感染者数が増加傾向であり、さらに、従来株より感染力が強い変異株の割合が増え、若年層の感染リスクが高まっていることにより、感染症対策に万全を期すことができないことなどから、児童・生徒及び引率する教職員の安全を第一に考え、学校連携観戦を中止することといたしました。

なお、オリンピック・パラリンピック教育については、その意義も含めて、タブレット端末の活用などにより、引き続き、各学校において取り組んでまいります。

…この“学校連携観戦”とは、東京都教育委員会が、『東京で開催される大会を直接観戦する体験を通じて、子供たち一人一人に、人生の糧となるかけがえのないレガシーを残していく』ことを目的に、平成28年度から都内全ての公立学校で実施している“東京都オリンピック・パラリンピック教育”の集大成で、都内の学校の子供たちが東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の競技を直接観戦する機会を提供する事業でした。そして『観戦を希望する都内の全公立・私立学校』を対象に、『観戦チケットに係る費用を、東京都が公費により負担する』こととなっていました。

…東大和市においては、市立全小学校の4年生、5年生、6年生と、市立中学校の全学年を対象に計画を進めており、チケット代以外の交通費などの費用（小学生は借り上げバス、中学生は公共交通機関の利用という交通手段で計画）などを約900万円、市の一般財源を使用して予算計上していました。

…オリンピックの観客をどの程度、会場に入れるのか、もしくは無観客になるのかなどの論議が報道されている中、東大和市議会の中でも、この“学校連携観戦”については賛否両論ありました。しかし、7月5日、都の教育委員会が、オリンピック・パラリンピックを児童・生徒が観戦する際、競技会場での間隔を確保する必要が出て、座席数を当初の計画のおよそ半分に変更するため、学校ごとの参加人数の割り当てを明示。そして、都の教育委員会は、各区市町村の教育委員会に対し、観戦を希望する学校や人数のほか、中止する

学校の有無を把握する調査を開始したため、東大和市としては、7月7日に中止を決定。

…しかし、翌日の7月8日、政府は東京都に4回目となる緊急事態宣言の発令を決定するとともに、宣言下で行われる東京五輪（7月23日～8月8日）は首都圏1都3県で全会場での無観客開催を決定。都の教育委員会が各区市町村の教育委員会に調査を実施した直後のこの決定からも、東京2020大会についてのドタバタが伝わってくるのと同時に、その影響を少なからず市区町村も受けていることは明らかです。

■聖火リレーも中止

…また、東大和市においては、7月13日に聖火リレーが実施される予定でした。7月1日に発行された市報でもルートや聖火リレーの市内の到着地で行われるミニセレブレーションのこと、そして交通規制などについて1ページ全体を使用して大きく取り上げていましたが、6月29日、東京都は、都内で行うオリンピックの聖火リレーについて、初日の7月9日から16日までの8日間、島しょ部を除いて公道走行を見合わせると発表。市報の原稿を差し替えることもできない急な変更となりました。市の担当者、そしてボランティアや聖火ランナーの方々などは、新型コロナウイルス感染症の感染者が増加しているため、仕方がないと思う反面、やるせない気持ちになられたのではないかと推察します。

【中止となったイベントの内容など】

・東京2020オリンピック聖火リレーとミニセレブレーション

日 時：令和3年7月13日(火)午後

走行ルート：東大和市役所から

都立東大和南公園平和広場まで

中止となった内容：

- ・聖火ランナーの走行
- ・サポートランナーの走行
- ・市内交通規制
- ・ミニセレブレーション
- ・聖火リレーサポーター(市ボランティア)の活動

【イベント中止への対応】

当日は、最終区間である東村山市のセレブレーション会場で関係者のみで点火セレモニーだけを実施する予定。

…今回中止となった、オリンピック聖火リレーの市のボランティアについては、新型コロナウイルス感染症の拡大もあり、東大和市は予定していた人数が確保できず苦戦。ゴールデンウィーク明けまで広報を行い、ボランティア参加を呼び掛けていました。そのような、苦労や経緯があつたにも関わらず、聖火リレーは中止となってしまいました。

(裏面に続く)

…また、東村山市で開催される予定だった点火セレモニーも当初とは内容を変更。当初は、市内の小中学生を含めて900人規模で動員する計画が進められていましたが、感染拡大防止の観点から公道での聖火リレーとともに、このセレブレーションの中止も決定。一般の方を入れず、聖火ランナー等の関係者のみで聖火の点火セレモニーを行う形式に変更したとのことでした。

…オリンピック閉会後に開かれるパラリンピックの聖火リレーは8月12日から開会式当日の24日までの13日間で行われる予定となっており、都内については20日から24日までの5日間で実施することとなっています。東大和市においては、8月22日にパラリンピックの聖火リレーが予定されていますが、今回、発令された緊急事態宣言はこの8月22日までの予定。現在のところ、パラリンピックの聖火リレーの開催、中止などについての情報は市の方には来ていませんが、準備を進める関係者の手間と気持ちを考えて、出来る限り、早い決断をしてほしいと思います。

■東大和市はワクチン不足にならない？

…また最近、報道で多く取り上げられている話題は「新型コロナウイルスワクチンの供給量不足」。政府が6月25日午後5時に新型コロナウイルスワクチンの職域接種の申請受け付けを一時停止することを発表したことにより、申請を済ませている企業や大学などでも接種時期が不明なケースも出ており、混乱が生じています。…報道によれば、職域接種などで使用している米モデルナ製ワクチンの供給量は、世界的な需要の高まりもあり、6月末までの供給量は、日本政府が当初計画していた4000万回分より大幅に少ない1370万回分だったとのこと。

…また、この事態に加え、市区町村の接種で使用している米ファイザー製のワクチンの供給についても、7月分は市区町村の希望量の約3分の1にとどまっており、8月、9月も同程度の数量の1170万回分2週間ごとに配送するとの政府の発表もありました。

…このような報道と東大和市が新たに55歳～64歳の方を対象にワクチン接種予約をスタートしたことを受け、市民の方から「東大和市はワクチン不足にならないのか」、「予約してもワクチンが供給されていないからキャンセルになることはないか」などの問い合わせが私のところにも寄せられました。

…そこで、市の担当者に確認したところ、「今のところ、東大和市ではワクチンの供給不足による混乱はない。予約枠はワクチンの供給量に合わせて設定しているため、予約をしたのにワクチンがないから接種できないというようなことは発生しない。今現在、55歳～64歳の方や基礎疾患のある方などの予約を受け付けているが、9月、10月頃はワクチン供給量が少なくなることが国から通知されており、東大和市内の接種のスピードが少し遅くなると考えている」とのことでした。

■急な変更や中止の影響

…オリンピック関連の事業の中止の原因は、新型コロナウイルスだということはわかっている、コロナ禍になって、すでに1年半、私たちは様々なことを学んできたはず。そのような中、世界レベルのイベントのオリンピックも重なり、意思決定をする立場の人の苦労も想像できますが、一番の末端の現場となる市区町村は、変更指示が来るまでは準備を進めなければならないため、“中止”の一言の重みをすべて受け止めてはなりません。これは、自治体、オリンピックに限らず、多くの分野に関わる多くの人にも同じこと。…また、ワクチン接種についても、市区町村や職域、大学接種を進めている現場が、現実的には影響を受けています。前述の通り、東大和市は慎重に進めているため、大きな影響はない状況ですが、積極的に接種を進めたため、大きな影響が出ている自治体もあります。…今後も、急な変更や中止が発生し、市も苦勞をする場面があると思いますが、市が前向きに取り組めるよう市議会も協力することはもちろん、国や東京都も、同じような混乱を招くことがないように、決定時期を考え、関係機関に正確な情報を速やかに出すようにすべきです。

がんばろう東大和！対象のお店で最大30パーセント戻ってくるキャンペーン

8月実施の、今回がラスト？

この取組みが決まった際、このレポートでも取り上げましたが、東大和市では、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内店舗（大型チェーン店は除く）を応援することと、キャッシュレス決済の普及を目的にこのキャンペーンを実施。対象店舗でスマホ決済サービス「PayPay」（ペイペイ）で決済した場合に、支払額の最大30パーセントのPayPayボーナス（ポイント）を還元するキャンペーンを令和2年9月、11月、令和3年1月、2月、6月と今まで5回実施。この8月の1か月間にも同キャンペーンが実施されます。新型コロナ対策として近隣他市でも同じようなキャンペーンが実施されましたが、東大和市のキャンペーンは、内容が良く、参加した市内事業者、利用した消費者ともに好評を得ています。このキャンペーンの費用は、一般会計の補正予算で計上されていますが、今後、新たに予算が計上されなければ、この8月のキャンペーンがラスト。キャンペーンの内容は基本、今までと同様ですが、詳細や対象店舗等は市と市商工会のホームページを参照ください。



市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。コロナ禍において、駅頭での配布は一時、控えております。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思えます。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。学校の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102